

トスベースボール 試合細則

1. トスベースボールにおけるボールデッドの取り決め

攻撃側（打者、走者）及び守備側の「全てのプレーが終了した時点」をボールデッドとし、試合を中断します。単にボールが捕手に転送された時点ではありません。

2. ボールデッドの時機（＝試合中のプレーの停止）について

①走者がいない場合

打者走者をアウトにするか、打者走者が次に進塁する塁上または塁付近までにボールが返送され、野手がボールを確保したとき。もしくは打者走者が進塁をあきらめたと判断した時点。

注)打者走者が走塁を継続している場合はプレーが続行される。

注)プレーが中断したと判断した時点後に、ボールが捕手または守備側への返球時に悪送球があった場合において、走者の進塁は認めない。

②走者がいる場合

ボールが走者の進塁すべき塁、または進塁を防ぐ塁に返送され、かつ全ての走者が走塁を終えたと判断した時点。

③最終打者の場合

①および②のほか、野球でいうところの2死からの打者として扱い、打者または走者がアウトになった時点でプレーは終了し、攻守交代を行う。

注)ホースアウトの場合は得点は認めない。

但し、タグアウトの場合はその時点前に他の走者がホームベースに触れれば得点となる。

3. 注意事項

1) 盗塁・バント・インフィールドフライは採用しない。盗塁・バントはアウトとなる。

2) 大人の走者と子供の守備側選手との接触は、安全を図るため大人が回避行動をとる。

①ボールを守備選手(子供)が捕球し、その後走者(大人)が走りこんだ時、接触し落球した場合は走者「アウト」とする。

②クロスプレイについては、通常タッグプレイ・フォースプレイ等として認められる範囲内にボールが送球・確保し、走者(大人)との接触で補給できなかった場合は走者「アウト」とする。

③送球されたボールが大きくそれ、タッグプレイ・フォースプレイ等と関係ないと判断した場合は、上記①②は適用しない。

④上記は、大人と子供の接触プレーを回避し、子供の安全を優先に決めたものであるが、危険プレーと審判員が認めた場合には、大人・子供に関係なく適用する。

4. その他

1) 大会の審判は出場チームから3名を派遣し、4審とスコア担当2名の6名で担当する。

各チームは主審が使用するホイッスル1個を持参する。

2) 大人は運動しやすい服装とし、時計や装飾貴金属などはケガ防止のため身に付けない。

靴はスニーカーやアップシューズとし、大人用スパイクシューズの使用は禁止とします。